

内浦公民館だより

令和7年5月9日発行

(2025) <vol.140>

Artfull うちうら

【発行】
内浦公民館
〒919-2351
高浜町山中 104-4-2
TEL.0770-76-2007
FAX.0770-76-2008
E-mail
uchiura_c.c@town.takahama.lg.jp

内浦公民館講座

春のハイキング～新しい給食センターに行ってみよう！～



何が彫ってあるでしょうか？

令和7年4月14日(月)

春のハイキングを開催しました。三松センターに集合して【ハーベストネクスト(株) 高浜給食センター】に向かって歩き出しました。車で通る見慣れた景色とは違って海を眺めながら遊歩道を歩くと、いろいろな発見がありました。高浜給食センターに着くと栄養教諭の浜田先生が出迎えてくださり、早速館内を案内していただきました。大きなガラス越しに給食を作っておられる皆さんを見て、作業行程や調理服の色によって、担当が分かっている事等教えていただき、食中毒対策や異物の混入が無いよう厳重にされている事がよく分かりました。地産地消食材が使われている、おいしい給食を皆で食べ大満足。帰り道では、海の生き物の彫刻を見て楽しみました。

- 開館時間 午前8時30分～午後10時
- 利用時間 午前9時～午後9時30分 夜間利用が無い場合は午後5時で閉館いたします。
<6月の休館日> 2日(月)・9日(月)・15日(日)・16日(月)・23日(月)・30日(月)

ランニング教室(4回シリーズ)始まりました



シリーズ1回目 令和7年4月26日(土)



ランニング教室の講師は、大西雄三さん(箱根駅伝 第76回大会優勝)です。

保育所の子供達、小中学生、大人まで幅広く参加しました。初めに、内浦公民館2階多目的ホールで足を意識したトレーニングを行い、その後外に移動しました。早く走る為に必要なポイントを教わり、みんな一緒に楽しく体を動かししました。教わった事を意識しながらランニング。内浦公民館から、鎌倉方面に走り三差路で折り返しました。「気持ち良い汗をかいてスッキリしました」「楽しかった」と皆さんいい笑顔(*^^*)。 *次回の【ランニング教室】もお楽しみに! ご参加お待ちしております。

地域ニュース

内浦地区防災計画推進委員会設立



令和7年4月14日(月)

内浦公民館 2 階多目的ホールで開催された、式典の様子です。令和6年10月から令和7年3月までの間、ワークショップによる会議を重ね3月24日(月)に【内浦地区防災計画】が策定されました。これまでの計画書策定会議について【まちの防災研究会 理事長】松森和人さんは、「半年をかけて根っこと幹が出来ました。後は内浦地区が安心安全な場所になる事を目指して、花を咲かせて行きましょう」と話されました。

今後、推進委員会の皆さんが中心となり活動されます。地区の皆さんと一緒に協力しながら、日頃の備えを考えていけるといいですね。

内浦地区防災計画書をご覧ください





館長の《こーひーぶれいく》No.121



今回は 山口未桜 著「^{きんき}禁忌の子」です。

現役医師でもある著者のデビュー作で第 34 回鮎川哲也賞を受賞した医療ミステリー小説です。生殖医療と倫理感、血縁と遺伝子、親と子の絆など様々な問いを投げかけながら、最後に明かされる驚愕の真相に読者の賛否は分かれると思います。ここ数年の中でのおすすめ No.1 の小説です。

兵庫市民病院に溺死体が運ばれる。「キュウキュウ 12」と表示された遺体は、対応にあたった救急科の医師・武田と顔も体格も「うりふたつ」であった。奇異に思った武田は、旧友で同じ病院の消化器内科医の城崎(きのさき)に相談し調査を始める。城崎は常に冷静で感情に流されることなく、頭脳明晰で、何でも解決してくれると病院内でも評判の医師だった。

自身の出自を明らかにするため、武田と城崎は協力して調査をはじめ、ある産婦人科クリニック・生島京子に辿り着く。そこでは三十数年前、当時はタブーとされていた最先端の生殖医療の研究をしていたことを突き止める。京子は武田たちと面会の約束をしていた日時に密室状態の中で縊死していた。これは自殺か他殺なのか。他殺であれば内部の者か外部の者の仕業か。現場からは当時の生殖医療に係る武田を含む 5 人分のカルテが無くなっていた。

「キュウキュウ 12」の正体は、武田と同じ遺伝子を持つ中川信也であり、二人は人工授精による一卵性双生児として、別々の母から生まれていた。武田は優しい両親に愛情をもって育てられ、信也は両親に疎まれた幼年期を過ごし、自分の出自を知り両親を恨み、生島京子を脅迫していたのだった。信也の死は事故なのか殺されたのか。信也が残した言葉「3/5」とは？

城崎の推理は、武田と信也は双子ではなく三つ子であって、数年後に生まれた子がもう 1 人存在する。凍結融解胚盤胞移植を施したのは 5 人の母体で、3 人が出生した。武田と信也、あと 1 人は誰なのか。

武田には、会って一瞬で恋に落ちた妻・絵里香がいる。二人はもうすぐ生まれる子を待ち望んでいる。

城崎は密室の謎、信也の死、あと 1 人の正体を解き明かしていく。それは残酷でおぞましい推理だった。

この作品が問いかける「親と子の絆」や「生命倫理の選択」に、読者はどう答えるでしょうか。賛否両論の結末からこの問題の複雑さを表わしています。生殖医療が技術的に可能となった今も、それが果たして倫理的に正しい選択なのか、そしてその選択が親子の未来にどのような影響を及ぼすのか。人工的に子を誕生させようとする親の望みは、生まれてくるこどもの人権を侵害していることにならないのでしょうか。

この作品のもう一つの魅力は医師としての現場経験を反映させたリアルな描写と専門的な知識の伝え方です。緊迫感のある救急医療シーンは、現場を熟知する彼女だからこそ生み出せる表現です。

また、城崎と武田の探偵と助手のような関係と核心に迫っていく論理的な推理は、新たなミステリーの続編に登場しそうな予感がします。

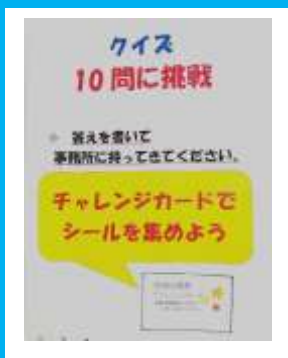


凍結融解胚盤胞移植…凍結した分割期胚または胚盤胞を融解して胚移植を行う。日本産科婦人科学会の不妊治療のデータを見ると、体外受精または顕微授精などの ART で分娩した出生児の約 85% は凍結融解胚移植児である。

内浦公民館 チャレンジコーナーを始めました。

≪1回目の期間は4月23日(水)～5月15日(木)≫

内浦公民館1階ホールにクイズ10問(一般的なクイズとなぞなぞクイズ)を用意しました。期間を区切ってチャレンジの内容を変えていきます!備え付けの解答用紙に答えを書いて、事務所までお持ちください。チャレンジカードをお渡しします。全問正解されたら、シールを貼ります。毎月クイズなどに挑戦し年間12枚のシールを集めて、**うちチャレチャンピオン**を目指そう!



これからの内浦公民館講座のお知らせ



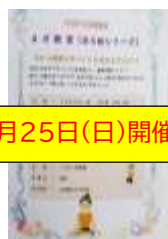
お申込み・お問合せは
内浦公民館 76-2007 迄
お願いします。



5月18日(日)開催

楽しいアウトドア!(テント×キャンプ飯)

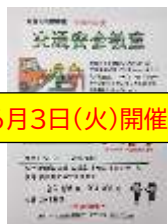
今年度は【楽しいアウトドア】と題して4回講座を開催します。講師は高田慎平さん。場所はヒロセオートキャンプ場です。アウトドアの魅力を発見しましょう。



5月25日(日)開催

ヨガ教室(5回シリーズ)

5月～7月に5回開催します。講師はアプリットサンマイル(Rina)さん。分かりやすく体の動きを指導してくださいます。楽しみにしておられる皆さん、お申込みお待ちしております。



6月3日(火)開催

交通安全教室

講師は、高浜町交通安全推進員の山本智子さんと清水妙子さんです。交通事故の現状や交通ルールについて、分かり易く教えてください。楽しく学びましょう。



6月7日(土)開催

草木染め教室

講師は永登裕芳理さんです。今回は【藍】ストールやエコバックを染めます。毎回どんな色になるのか楽しみです。

